

平成29年度 川崎市立日本民家園事業評価シート

■評価

つぎの3段階とする。

A: 目標を充分達成し成果を上げている

B: 目標を概ね達成している

C: 目標を達成しておらず改善が必要である

「評価」欄

小文字: 内部評価 / 大文字: 外部評価

統計

項目	平成29年度	平成28年度実績	平成27年度実績	平成26年度実績
総入園者数	116,772人	116,053人	118,887人	124,527人
有料入園者数(有料率)	52,122人(44.6%)	50,830人(43.8%)	56,422人(47.5%)	54,459人(43.7%)
外国人入園者数	6,342人	5,918人	5,378人	5,169人
総入園料収入	20,393,900円	19,890,660円	22,287,720円	21,430,620円
歳出に占める歳入の割合	13.7% (50周年事業費を含めると 13.2%)	14.1%	15.9%	16.1%
WEBサイトアクセス数 (英語版)	775,221件 (49,442件)	727,262件 (51,586件)	818,303件 (45,991件)	696,601件 (29,124件)
学校体験・見学校数	193校	196校	189校	163校
炉端の会・民技会 会員数	炉端の会279人 民技会92人	炉端の会262人 民技会92人	炉端の会269人 民技会92人	炉端の会250人 民技会95人
伝統工芸館藍染体験参加者 数(伝統工芸館事業収入)	3,233人 (4,251,612円)	2,937人 (4,362,182円)	3,214人 (4,603,338円)	2,589人 (3,986,696円)

1. 民家野外博物館としての研究・展示・普及活動

(1) 文化財建造物・民具などの保存・整理・調査研究と補修の推進

29年度

現状：25件の文化財建造物を移築復原し、長期計画を立てて補修工事を実施している他、日常的な維持管理業務として燻煙と清掃を行っている。総合防災事業については、消火設備・防犯設備のリニューアルが完成し、耐震補強工事が進行中である。資料の整理・研究活動については、建築分野では大岡資博士文庫の目録や民家園叢書の刊行を進めている。民俗分野では移築民家ごとの資料目録(調査報告)の完成を受け、引き続き暮らしと家をテーマに調査を実施、報告書の刊行を進めている。

実施目標	中期目標(3年、H31まで)(目標水準)	平成29年度計画(目標水準)	平成29年度実績	今後の課題	評価
①文化財建造物維持管理の推進	三澤家・岩澤家・広瀬家屋根葺き替え(完成まで)。 新主任技術者への技術・知識等継承(完了まで)。 その他文化財建造物の適切な保存管理の推進(破損箇所随時)。	三澤家・岩澤家屋根葺き替え(完成まで)。 屋根ほか小破修繕(破損箇所随時)。 新主任技術者への技術・知識等継承(基本的部分の完了まで延200日)。	三澤家・岩澤家屋根葺き替え(完成)。 屋根ほか小破修繕(土留め・かまど・床板など)。 新主任技術者への技術・知識等継承(基本的部分完了)。	修理業者の確保。	a / A
②総合防災事業・耐震補強工事の推進	三澤家・山下家耐震補強工事(完成まで)。 太田家耐震補強設計(完了まで)。 菅原家耐震診断(完了まで)。	三澤家耐震補強工事(完成まで)。 太田家耐震補強基本設計(完了まで)。 山下家耐震補強工事県費補助金の申請	三澤家耐震補強工事(完成)。 太田家耐震補強基本設計着手 山下家耐震補強工事県費補助金の申請	工事時の廻路確保。	a / A
③[建築]収蔵資料の整理・調査研究の推進と成果の公表	大岡資料整理(調査ノート目録3刊行)。 民家園叢書継続刊行(鈴木家・三澤家耐震補強工事報告書刊行)、および報道発表。	大岡資料整理、調査(アルバイト人工数20人)。 民家園叢書鈴木家耐震補強工事報告(編集着手)。	大岡資料整理、調査(アルバイト人工20人)。 民家園叢書鈴木家耐震補強工事報告書(編集中)。	資料整理、報告書編集のための十分な作業。	a / A
④[民俗]収蔵資料の整理・調査研究の推進と成果の公表	耐震補強工事棟保管民具の仮収蔵場所への移動(完了まで)。 「暮らしと家」調査(報告書年1冊刊行)。 教育普及活動を含む学会成果の外部への発信、報道発表(年2回)。	山下家保管民具梱包、移動場所決定。 「暮らしと家」調査(報告書刊行まで)。 ミュージアムエディケーター勉強会で学会成果の報告(2回)。	山下家民具梱包(完了)、移動場所の決定。 『シリーズ暮らしと家2 民家の一年』(刊行)。 ハンズオン・シンポジウム、ミュージアムエディケーター勉強会で活動報告(計2回)。	園内に収蔵庫の確保。 仮収蔵場所に移動した民具の活用体制確立。 収蔵資料データベース構築準備。	a / A
評定意見	耐震補強工事を含め、建造物の保存に係る工事及び次年度に向けた準備は計画通り実施できた点は評価できる。工事の際は建物の基礎・地盤についても十分に検討を行い、必要な措置をとることが求められる。なお、工事計画の策定、設計・仕様の決定に当たっては、過去の工事内容を参照することに加え、外部の専門家の意見を聞き、学術的・技術的に適切な形で工事が実施できるようにすること。文化財保存修理工事は、文化財保存の意義を周知する好機でもあることから、工事中だけでなく工事後の一定期間、修理の理由や内容、施工箇所について来園者に知らせる工夫をすることが望ましい。その点、昨年度竣工した旧三澤家耐震化工事における回遊式園路設定と園路位置に則した常設解説パネル掲示は、大変効果的であったと高く評価できる。こうした取り組みは是非継続して欲しいし、茅葺きなど伝統技術の様子の見学などの機会も検討して欲しい。 資料の整理・調査研究については、計画通りに進められているが、民俗資料については、今後園外の仮収蔵施設に移動させることになるため、管理・利活用の方法についてよく検討し、民家園の活動に支障のないように留意することが望まれる。				

(2) 展示の充実

現状：25の文化財建造物を野外展示し、それを補うために本館に常設展示室と企画展示室を設置している。各古民家では地域の民具や年中行事の展示を行っている他、囲炉裏での火焚きや生活用具の製作風景、さらには屋根の葺替えなども展示の一環としてとらえ、作業風景を見せるための工夫をしている。常設展示室では、園全体の導入として日本の民家建築の基本を展示している。企画展示室では、民俗や建築をテーマに年2回企画展を開催し、合わせて関連事業を実施している。展示に際しては解説に英文を併記している他、スマートフォンを利用した4カ国語音声ガイド(日英中韓)を導入し、外国人向けのサービスにも力を入れている。

実施目標	中期目標(3年、H31まで)(目標水準)	平成29年度計画(目標水準)	平成29年度実績	今後の課題	評価
①常設展示(古民家内展示含む)及び関連事業の充実	音声ガイドの利用拡充および保守(毎年保守委託)。 古民家内展示整備(解説パネル16カ所、敷地図25カ所設置、主要民具解説キャプション35点)。 石造物解説板整備(13カ所)。 スタンプラリーのリニューアル(ハウス・シート・スタンプ完成まで)。 建造物解説の充実(古民家めぐり年24回、大規模工事ごとに見学会開催・解説パネル設置)。 さわれる展示手法の取り入れ(床上公開時に民具体験実施)。	音声ガイドの利用方法広報(ダウンロード数600件)。 本館第2展示室の内容を解説パネルで古民家内に設置(16カ所)。 古民家内に各家の敷地図を設置(25カ所)。 スタンプラリーリニューアル(ハウス・シート・スタンプ完成まで)。 建造物補修工事等における建築解説パネルの設置(屋根葺き替え、耐震補強工事実施時)。 古民家めぐり実施(24回)。 工事見学会実施(2回)。 床上公開時の民具体験(試験実施、課題抽出)。	音声ガイド広報実施(ダウンロード数4457件)。 常設展解説パネル設置(16カ所)。 各民家に敷地図配置(19カ所)。 暮らし解説パネル設置(5軒)。 民具キャプション解説・翻訳作成(35点)。 スタンプラリーリニューアル(ハウス・冊子・スタンプ完成)。 工事解説パネル設置(三澤家、岩澤家)。 古民家めぐり実施(24回)。 工事見学会(1回、岩澤家については園路より常時見学できるようにし、見学会は実施せず)。 床上公開時の民具体験(課題抽出まで)。	はんこ帖の継続的な増刷。 荒天時も楽しめる展示の工夫。	a / A
②企画展示および関連事業の充実	民家博物館として、特性を活かした話題性のある企画展示開催(年2本)。 さわれる展示手法の取り入れ(子供向け展示の場合に「触れるコーナー」設置)。 企画展中長期計画策定(計画書作成まで)。	50周年の話題性ある記念企画展「日本民家園“今昔”ものがたり」、「結び展(仮)」開催(パンフレット、図録刊行まで)。 一般向け企画展示解説実施(7回)。 子供向け企画展示解説実施(2回)。 企画展示室内に「さわれるコーナー」設置(1回)。 企画展中期計画策定(計画書作成まで)。	50周年記念展「日本民家園“今昔”ものがたり」「結び展」開催、パンフレット・図録刊行(完了)。 一般向け企画展示解説実施(10回)。 子供向け企画展示解説実施(2回)。 企画展示室内に「さわれるコーナー」設置(2回)。 企画展中期計画策定(完了)。	園内の古民家と展示会場を連動させた企画展の開催。 外国人も楽しめる企画展示の工夫。	a / A
評定意見	企画展示については、改修後の展示室の利用が開始され、実施した2本とも大変充実した内容で高く評価すると共に、その成果を今後の常設展示や各種事業に活用することが期待される。古民家内での常設展示については計画通りに進められ、関連事業も適宜実施されている。 古民家の原状と異なる部分については、説明パネルを設ける等見学者に誤解される恐れがないよう、必要な措置をとることも検討すること。 古民家内での民具体験については、実施上の課題の整理、ボランティアスタッフ等との調整を進め、早期に実現できるように努めること。				

(3) 教育普及活動の充実

現状：教育普及活動として学習講座・体験講座等を実施、特に子供や親子向けの行事、当日自由参加型の行事に力を入れている。また施設の特長を活かし、古民家の旧所在地と連携した事業にも力を入れ、各地の芸能公演や物産展などを行っている。この他、学校との連携を進め、小学生の体験学習や中学生の職業体験の受け入れを行っている。また、炉端の会・民具製作技術保存会は民家園の教育普及活動を支え、協力者会議を開催して事業運営の改善を進めている。指定管理者は伝統工芸館や古民家カフェの充実を進めている他、さまざまな自主事業を行っている。

実施目標	中期目標(3年、H31まで)(目標水準)	平成29年度計画(目標水準)	平成29年度実績	今後の課題	評価
① 各種事業(講座・ワークショップ・催事)の充実	子供向けワークショップの充実(年平均6回)。 当日受付型・自由参加型事業の充実(年平均25回)。 生田緑地他館等との連携事業の充実(年平均2回)。	子供向けワークショップ実施(6回)。 壁土作り実施(1回)。 木組み模型の活用(5回)。 当日参加型体験事業(23回実施)。 科学館との連携行事実施(2回)。 他部署と連携した50周年記念イベント開催(多摩区、ミューザ川崎各1回)。 50周年記念芸能公演の開催(1回)。	子供向けワークショップ実施(6回)。 当日参加型体験事業(23回)。 科学館との連携行事実施(2回)。 他部署と連携した50周年記念イベント開催(多摩区、ミューザ川崎各1回)。 50周年記念伝統芸能公演開催(1回)。	ワークショップの様式化(種類を増やし、安定して実施できるようにする)。 外国人参加者への対応。 新規客層呼び込みのための事業の工夫。	b / B
② 旧所在地交流事業の充実	南砺市、甲州市、福島市との交流事業の充実(年平均各1回)。 旧所在地交流事業の拡充(九十九里町など)。	50周年記念版旧所在地交流事業実施(3自治体、計4回)。 新規自治体現地視察(1カ所)。	50周年記念版旧所在地交流事業実施(3自治体、計7回)。	こきりこ出前授業の事業化等。	b / A
③ 学校との連携の充実	学校利用増加(年平均5校増)。 多摩区三大学(専修大・明治大・日本女子大)との連携推進(留学生モニター毎年3回実施)。 見学学校用教材増補(完了まで)。 インターナショナルスクール向け教材作成(完成まで)。	近隣都市や中・高・大学等への広報強化による学校利用数増(5校増の201校)。 50周年企画として多摩区3大学向け割引チラシ配布(3大学入園者数計100名)。 多摩区3大学留学生モニター実施(2大学増)。	学校利用数(181校)。 50周年企画として多摩区3大学向け割引チラシ配布(6000枚印刷、3大学利用者計35名 専修23、明治2、日本女子10)。 多摩区3大学留学生モニター実施(大学数同数)。 大学・研究者への協力(明治大学3Dスキャン計測、建築部材年代測定対応)。	大学や研究機関に協力した成果の活用。 学校の意見を反映させた資料の作成。 生田緑地全体の学校利用マニュアルの作成。	b / B

④市民活動団体との連携の充実	炉端の会、民技会との連携の強化および両者との協力者会議による運営改善（協力者会議年1回）。 昔話、お茶会等の団体との連携の充実（昔話30回、お茶会2回）。	炉端の会、民技会への活動支援および各団体と連携した各種事業の実施（各例会、役員会、理事会等への出席、およびその成果として各種事業の実施）。協力者会議開催（1回）。 昔話、お茶会等の団体との連携の充実（昔話30回、お茶会2回）。	炉端の会、民技会への活動支援および各団体と連携した各種事業の実施（役員会等出席、炉端の会会則改正、ガイドマニュアル改訂、団体ガイド申込書改訂、炉端文庫再整理、50周年に合わせた床公開時間延長等）。協力者会議開催（1回）。 昔話、お茶会開催（昔話30回、お茶会2回）。	炉端の会Webサイトへの支援。 協力者会議の運営改善。	a / A
⑤伝統工芸館・自主事業の充実	本藍の継続的使用のため複数スタッフの技術向上（研修機会確保）。 自主事業の充実（年5回以上）。	専門技術者による新たな講座展開（前半計画作成、後半試験実施）。 藍染料金見直し（前半作成、後半運用）。 50周年関連自主事業実施（2回）。	専門技術者による新たな講座展開（計画作成、実施）。 藍染め料金改定（本藍と合成藍とで金額を区別）。 50周年記念自主事業実施（荒馬座公演、古民家と日本酒の夕べ等）。 「浴衣着付け教室」「芸者に学ぶ粋な遊び方」で外国人対応準備（外国人参加者なし）。	外国人参加者への対応。	a / A
評定意見	各種事業・旧所在地交流事業は、開園50周年記念事業もあり、総体として豊富に実施され充実している。一部未実施であった事業については、その要因を検討し今後は計画通りに実施できるように努めること。学校との連携については、学校側の希望・条件を踏まえ、生田緑地内の施設と関連付けた新しい利用形態を提案する等、連携の質・量の向上につなげる工夫が期待される。また、規模が大きい大学に関しては、連携の実現に結びつきやすい担当者・部署に働きかけを行う等、より効果的な方法を検討することが望まれる。 外部研究者への調査協力について、得られた研究成果を公開・活用するに当たっては、民家園としてもその内容を吟味した上で行う姿勢が求められる。 市民活動団体との連携、指定管理者による伝統工芸館事業・自主事業については充実しており、今後もそれを継続発展させていくことが期待される。				

2. 民家野外博物館としての運営・管理活動

(1) 博物館経営(ミュージアム・マネージメント)の整備・充実

現状：平成25年度より指定管理者制度を導入し、維持管理(文化財を除く)・広報業務を指定管理者が担っている。市の職員、指定管理者の職員、いずれも資質向上のため各種研修への参加を促している。また、来園者数・入園料収入向上を目標に、リピーター確保のための工夫を重ねている。危機管理については各種防災訓練を実施、危機管理マニュアルを随時更新している。

実施目標	中期目標(3年、H31まで)(目標水準)	平成29年度計画(目標水準)	平成29年度実績	今後の課題	評価
①運営体制・研修等の充実	運営の充実につながる次期指定管理の準備と円滑な移行(移行完了まで)。研修機会の継続確保(市職員年1回以上)。事業評価の実施と活用(毎年実施・公表)。市専門職員の確保(民俗1名)。	運営の充実につながる指定管理5年間の総括・次期指定管理者募集に伴う事務、回答完成。外部の専門研修・勉強会への参加(市職員1回以上)。窓ロスタッフの対応均質化(対応マニュアル改訂)。事業評価の実施と活用(今年度分実施、昨年度分公表まで)。市専門職員の確保(民俗1名)。	次期指定管理者募集に伴う事務(完了)。外部の専門研修・勉強会への参加(10名のうち7名参加)。窓ロスタッフの対応均質化(対応マニュアル改訂)。事業評価の実施と活用(今年度分実施、昨年度分公表)。市専門職員の確保(民俗1名)。	評価シート・評価項目の継続的見直し。内部研修の定期開催。	a / A
②入園者数・入園料収入等の確保	入園者数増(年間平均130,000人)。有料入園者増(年平均60,000人)。年間パスポートの増によるリピーターの拡大(年平均5,500人)。外国人入園者増(年平均6,500人)。	総入園者増(138,000人)。有料入園者数増(64,000人)。年パス利用者増(6,000人)。外国人入園者増(7,000人)。	総入園者(116,772人)。有料入園者(52,122人)。年パス利用者(3,866人)。外国人入園者(6,342人)。入園者数は概ね前年の10%増で推移したが、猛暑の7月、相次ぐ台風・長雨の10月、大雪と厳寒の1月が大きなマイナス要因となり前年並みとなった。	平日や夏冬の閑散期の入園者増の工夫。指標の変更(〇人ではなく対前年度比〇%とする等)。	c / B
③危機管理への構えと対応	危機管理マニュアルの継続的増補、職員への徹底(毎年項目見直し、読み合わせ)。来園者と文化財の安全確保、案内等質の高い警備の実施(マニュアル作成)。防災訓練の実施(毎年4回)。	混雑時の警備体制強化(マニュアル作成)。券売所の安全対策(配置見直し、誘導パーティション増設、ミラー設置まで)。物販の盗難防止対策強化(防犯訓練1回実施)。防災訓練の効果的実施(4回)。	券売所の安全対策(配置見直し、誘導パーティション増設)。物販の盗難防止(訓練1回)。防災訓練実施(4回)。民技会防災訓練実施(初)。	混雑時・雪害時のマニュアル作成。券売所・物販の防犯対策強化。外周の柵の整備(未設置箇所解消、竹垣を金属に変更)。漏電、配線コード劣化対策の強化。生田緑地全体の防災体制の確立に向けた準備。警備本部の改修。	b / B
評定意見	常勤学芸員の採用が実現したことは、今後の民家園の活動の更なる充実が期待でき、評価できる。第2期指定管理期間の指定管理者選定に向けた手続きが進められたが、選定に当たっては博物館という社会教育機関の安定的・継続的な運営に資するような配慮が求められる。事業評価に当たり、複数年度にわたる計画については、実績として計画全体の中で当該年度における進捗・到達の度合いを示すことが求められる。また、建造物修理、展覧会テーマ等中長期の計画が立てられているものについては、評価の際の附属資料として提示することが望まれる。天気が入園者数の増減に直結する野外博物館としては、今年度の気象条件は不利な点が多く、止むを得ない実績であったと認められる。但し目標の設定に当たり適正な入園者数の算出の在り方について、他の同種の博物館の状況、生田緑地全体の状況等を踏まえて、よく検討する必要がある。また、民家園の魅力を伝え、新たな入園者を迎えたり、平日の入園者の増加につながるような広報、リピーターからの要望の吸い上げ、入園者の不満足意見の分析等の取り組みが期待される。多客時や荒天時の安全確保のための対応マニュアルの作成を確実に実施すること。				

(2) 魅力発信と広報の強化

現状： インターネットによる広報、地域団体・企業と連携した広報を展開している。また外国人誘致にも力を入れ、英語版のWEBサイトを設けている他、リーフレットは11カ国語(日・英・中繁・中簡・韓・仏・独・スペイン・ポルトガル・タガログ・タイ)に対応している。また、全ての案内板に英文を、一部の案内板は英語・中国語・韓国語を併記している。

実施目標	中期目標(3年、H31まで)(目標水準)	平成29年度計画(目標水準)	平成29年度実績	今後の課題	評価
①民家園・生田緑地の魅力発信	民家園・生田緑地の効果的情報発信。オリンピック・パラリンピックに向けた広報の充実(広報の工夫・強化と入園者増)。生田緑地他施設・他局・観光協会・地元商店会・神奈川県等と連携した広報および連携先の開拓。優待サービスの効果的な広報と利用促進(利用者増)。来園者ニーズ把握方法の見直し(見直し案作成・実施)。	50周年事業に合わせ、緑地関係部署等と連携した情報発信(広報会議開催、多摩区情報誌「はなもす」の民家園特集号、多摩区役所地域振興課のドローン映像制作、サマーミュージアムでの緑地全体での50周年特集等)。アンケートキャンペーンとして回答者に景品贈呈(1回)。優待サービスの効果的な広報と利用促進(利用者の増)。	50周年事業に合わせ、関係部署等と連携した情報発信(多摩区情報誌「はなもす」民家園特集号、「教育だよりかわさき」民家園特集記事、多摩区役所・シティプロモーション推進室と連携しドローン映像制作、サマーミュージアムで3館連携50周年祝賀イベント、緑地開催、記念ボール販売)。アンケートキャンペーン実施(未実施)。観光情報展等への県の出展の際にリーフレット等配布を依頼。優待サービスの広報と利用促進(年間パスポートキャンペーン2回実施、-497人)。	プレスリリースの即応化。リピーターからの意見徴集。生田緑地・緑地内他施設利用者への広報。動画を活用した広報。	a / A
②一般向け広報とサービスの充実	広報の充実(駅貼り・車内貼り・街路灯フラッグ実施)。WEBサイトの充実(アクセス数年平均830,000)。SNSを活用した広報(投稿月平均1回)。	50周年広報の充実(記念ポスター駅貼り・車内貼り、路灯フラッグ掲出、市政だより特集号)。WEBサイトの充実(アクセス数820,000)。	50周年広報の充実(記念ポスター2種、小田急電鉄・JR東日本駅貼り・車内貼り、記念街路灯フラッグ掲出緑地施設全枠掲出、市政だより4月1日号に特集記事)。WEBサイトの充実(アクセス数718,917)。街路灯フラッグ新デザイン作成(完成)。	旅行会社と連携した民家園・生田緑地の市外に向けた広報。	a / A
③外国人向け広報とサービスの充実	多言語音声ガイドの周知による魅力向上(ダウンロード数の国別集計実施)。音声ガイドの言語拡充(1カ国語)。英語版WEBサイトの充実(アクセス数年平均55,000)。	多言語音声ガイドの広報(英語版WEBサイトに掲載、外国人向け案内資料作成)。ベトナム語リーフレット発行(完成まで)。英語版WEBサイトの充実(アクセス数46,000)。英語版WEBサイトに昔話英訳文掲載(公開まで)。音声ガイドの言語追加(検討)。	多言語音声ガイド広報(WEBサイト、案内資料)。ベトナム語リーフレット(発行)。フランス語リーフレット改訂・増刷。タイ語リーフレット改訂。英語版WEBサイトの充実(アクセス数45,140)。英語版WEBサイトに昔話英訳文掲載(完了)。団体ガイド申込書(日・英)改訂。	写真を使ったインスタグラムによる広報。	a / A
評定意見	開園50周年ということで、記念事業としての多言語音声ガイドの新規導入や例年以上の積極的な広報活動が展開できた点は評価できる。広報についてはより実効性を高めるために、ターゲットを明確化した情報発信や、広報の効果の確認・検証も検討すべきである。外国人向けの広報活動は、ウェブによるものに加え、園内ガイドパンフレットも充実しており大いに評価できるので、今後も継続・拡充が望まれる。				

(3) 利用者の利便性・快適性・安全性の向上

現状：来園者サービス施設として救護室や授乳スペース等を整備、ベンチやテーブル等のリニューアルも進めている。敷地内の環境は展示の一環として整備を進め、民家の旧所在地に合わせた植栽や、景観にふさわしい案内板の設置を行っている。また、バリアフリー化として古民家の敷居にスロープを用意、園路についても手すりの設置や一部舗装化など対応を進めている。この他、来園者へのサービス向上のため、ショップの充実と窓口業務の改善に努めている。					
実施目標	中期目標(3年、H31まで)(目標水準)	平成29年度計画(目標水準)	平成29年度実績	今後の課題	評価
①来園者サービス施設の充実、快適性の向上	窓口・ショップの充実(繁忙期人員増)。 新しい休憩施設等サービス向上に向けた取組の推進(実施に向けての設計等)。 山下家耐震工事中の飲食提供業務の確保(実施まで)。 船越の舞台客席改修(完成まで)。 休憩スペース改修(露天の全ベンチ改修)。 継続的な商品開発(毎年2点)。	繁忙期の窓口体制強化(正門1名増)。 50周年グッズの販売(2点販売)。 新しい休憩施設等サービス向上に向けた検討(計画策定まで)。 船越の舞台客席改修(完成まで)。 ベンチ改修(2カ所)。 ベビーホールド設置(1カ所)。 Wi-Fiスポット利用方法広報(日英WEBサイト掲載、日英案内資料作成)。	繁忙期の窓口体制強化(4・5・10・11月全日及びそれ以外の土日祝日1名増)。 50周年グッズ販売(2点)。 船越の舞台客席改修(完成)。 露天のベンチ改修(未実施)。 おむつ台設置(ベビーホールド代替品)。 Wi-Fiスポット利用方法広報(日英WEBサイト、日英案内資料)。 本館及び園内トイレの改善。	全ベンチの長寿命化。 そば処白川郷休業時の対応検討。 新しい休憩施設等ニーズ及び手法の調査検討。	a / A
②環境整備による安全性・快適性の向上	園路整備の効果的な推進(園路の全泥濘箇所)。 安全に配慮した危険箇所への対応(全急坂・階段への手すりの整備等)。	園路整備の効果的な推進(優先度の高い箇所から順次)。 安全に配慮した危険箇所への対応(劣化箇所等随時)。	安全に配慮した園路・施設の危険箇所への対応(野原家脇～便所土舗装、伊藤家下土留め更新)。 園路等整備計画・園路・排水整備計画策定にむけた取組	資材置き場の確保。	a / A
③博物館にふさわしい植栽の整備	植栽管理の適切な実施(必要に応じ随時)。 危険木対策(発見次第随時)。 古民家の旧所在地に合わせた植栽整備(記念樹の植樹と育成)。	下草刈りの適切な実施(江向裏・作田裏・土蔵・水車小屋・高倉周囲)。 枝卸し・草刈・柵補修等の実施(必要に応じ随時)。 50周年記念として旧所在地ゆかりの樹木や花木の植樹(全25棟)。	下草刈りの適切な実施(原家裏、水車小屋～江向家の壁、佐々木家前、作田家裏、土蔵、太田家前の坂道、清宮家～伊藤家、蜷影山祠堂脇、船越までの階段)。 枝卸し・草刈・柵補修等の実施(清宮家～水小屋四ツ目垣)。 危険樹木等管理計画作成にむけた取組 50周年記念として旧所在地ゆかりの樹木や花木の植樹(25棟)。 年中行事展示用エフトコノ栽培(水車～江向の間で用地整備着手)。	長期的な植栽整備計画の策定。 危険樹木等管理計画の着実な実行。 専門家による計画的な植栽管理。 樹木ごとの表示・植栽地図の整備(名称、伐採の可否を表示)。	a / A
評定意見	来園者サービスの充実については、計画的なハード面の改修、ソフト面の向上等を継続的に実施していくことが期待される。 園路の改修等は、来園者の安全性・快適性に直結するものであるから、仕様についてよく検討し、速やかに実施できるように努めること。 園内各所で草刈りや古民家に懸かる樹木の枝打ち・伐採等を行い、通風の向上、落枝の予防、人目につきにくい死角の解消等が進められている点は評価できる。今後も計画的に継続して、景観に配慮しつつ植栽に由来する建造物や来園者の安全・安心に対する影響を除いていくことが期待される。また、今回の総合防災工事実施に当たって、地中配管機器の点検口など、民家見学の際に出来るだけ目立たない位置に設置すべき設備が目障りな位置に露頭してしまった。この点は、将来機器更新の際に、配置改善すべきことを後世に申し送って、必ず改善して欲しい。				

事業評価シート資料 日本民家園平成29年度事業実績

展示		★29年度が初めてのもの			
	事業名	日程	会場	内容等	参加者・回数
展示企画	「日本民家園今昔ものがたり」	4/29-11/26	本館企画展示室	民家園の50年の歴史をふりかえる展示	—
	「結び展」	1/4-5/27		生活の中で使われてきたさまざまな「結び」を紹介する展示	—
常設展示	文化財建造物展示	通年	園内	移築・復原した古民家等25件、4カ国語音声ガイド	—
	本館展示		本館展示室	民家の建築に関する展示	—
	石造物展示		園内	園路沿い 道祖神・庚申塔・馬頭観音等	—
	民俗資料展示		各古民家	生活用具・農具等	—
展示行事	年中行事展示	毎月	北村・清宮・原・栗影山・作田	節句雛・田植え祝い・盆棚・小正月等古民家の年中行事を展示	—
	雪囲い	11/25-3/11	菅原家	雪と寒さを防ぐ雪囲いを再現	—
工芸館	藍T vol.9	5/17-6/18	伝統工芸館	型染め、絞り染めによる藍染めTシャツの展示	—
	講座作品展	初級8/2-9/3、中級10/25-11/19		講座受講者と工芸館スタッフによる藍染め作品の展示	—
	タイトル未定	9/14-10/16		50周年にちなんだ展示	—
	千支	11/29-1/21		講座受講者と工芸館スタッフによる藍染め作品の展示	—
	節句	1/31-未定		節句をテーマにした藍染め作品の展示	—
公開	床上公開	毎日(8・12月除く)	3-5棟	囲炉裏に火を入れ、床上部分を公開 炉端の会、民具製作技術保存会	132, 983人
	夜の民家園	4/1・2、11/25・26、3/31(4/1)	宿場・信越	ライトアップ、昔話、夜なべ仕事 炉端の会・民具製作技術保存会・おはなし万華鏡	1, 432人
	旧船越の舞台特別公開	5/13-21の土日祝	船越の舞台	国指定重要有形民俗文化財の内部公開 炉端の会	982人
	工事見学会	5/13	三澤家	免震工事見学会	20人
民芸会	民具製作実演	不定期日曜、臨時活動日	園内	わら・竹細工、機織り 民具製作技術保存会	256日
	作品展示・頒布会	5/3-5、10/1-11/12	太田家、原家、鈴木家	頒布会は日祝のみ 民具製作技術保存会	頒布12回

教育普及活動

体験講座・ワークショップ	草バットを作ろう	5/4・7	佐々木家	シュロの葉を利用した草玩具づくり、園内の草花を用いた遊び 炉端の会	—
	こども民家園検定	5/3-5	関東の村	子供向けなぞとき体験 炉端の会	306人
	むかし遊び	5/3・4、11/3	作田家他	輪投げ・竹馬・竹ボックリ・折り紙・お手玉等 民具製作技術保存会、炉端の会	373人
	民具着用品体験	5/3・4	作田家	笠や蓑の体験 民具製作技術保存会	187人
	民家園の七夕	7/1	佐々木家	飾り作りと飾り付け 関悦子・畑山拓登(園職員)、★機織り体験 民具製作技術保存会	29人
	お蚕さまの絹糸	7/2	野原家	座繰り実演、ずりだし体験 民具製作技術保存会	36人
	糸と糸車のひみつ	7/29	原家	糸車の体験 関悦子・畑山拓登・草場結貴(園職員)、民具製作技術保存会	9人
	古民家探偵入門	8/2	原家・園内	原末織・草場結貴(園職員)	5人
	お月見デー	10/4	宿場・信越の村、科学館	観月会、むかしの明かり体験、ライトアップ他、科学館ではプラネタリウム	170人
	おしえて大工さん	10/8	作田家	昔の大工仕事実演と大工仕事の体験 神奈川土建川崎多摩支部	157人
	小正月モノヅクリ	1/7	北村家	ケズリカケ等の飾り製作実演とまゆ玉団子飾り体験 民具製作技術保存会	47人
	企画展ワークショップ	1/13	本館	博物館実習生の企画による「結び展」に関するワークショップ	15人
	わら細工	5/14、9/17、11/19、12/23	原家、作田家	ぞうり、わらじ、釜しき、しめ縄(たまかざり) 民具製作技術保存会	61人
	竹細工	4/23、6/4、10/1		丸型六つ目かご、菱四つ目かご、小判型六つ目かご 民具製作技術保存会	71人
	はた織り	5/28-6/4・11、11/5		裂き織り、綿の実から糸まで(糸紡ぎ) 民具製作技術保存会	55人
	親子体験	7/23、30、8/6		あしなか、竹笛・やじろべえ、裂き織り 民具製作技術保存会	20組
	★和太鼓・南京玉すだれ体験	5/4	広瀬家	和太鼓と南京玉すだれの体験講座 鼓楽、楽笑会	537人
	大和なでしこ講座	7/29	原家	浴衣の着付け 着物のくらや	8人
	★張子で作るやさしいライト	1/21	原家	伝統技法「張子」で簡単かつ実用的なライトを作る 江中佐知子(園職員)	14人
	漆継ぎ講座	1/16、30、2/6、20	原家	伝統的な漆継ぎの技法による陶磁器を修理する 小林広美	2人
	芸者に学ぶ粋な遊び方	2/25	原家	品川大井海岸まつり屋やよい	22人

工芸師	しぼり染め	6/10・11、10/21・22	伝統工芸館	I、II中級(各2回連続)	21人
	型染め	7/22・23、9/2・3、11/18・19		初級、中級、干支(各2回連続)	43人
	ワークショップ	4/14・22・23、8/19・20、10/26		こいのぼり、ストール、藍の生葉染め	47人
講学 座習	分棟型住宅	2/4・11	原家	日塔和彦(文化財建築技師)	22人
	ボランティア講座	1/13、20、27、2/3	原家他	新規会員向け、柳隆泰・関悦子・畑山拓登・原末織(園職員)	29人
全国 行事	納涼民家園	8/20	緑地全体	浴衣・甚平で無料 打ち水・井戸汲み・水鉄砲・洗濯板・蚊帳・ごろ寝体験、風鈴展示他 炉端の会、民具製作技術保存会、多摩区稲目町会	入園 1,987人
	多摩区民祭	11/18	緑地全体	無料開園日 骨董市	入園 1,941人
	民家園まつり	11/3	全国	無料開園日 歌舞伎公演、伝統技術実演(堂宮彫刻、彫金、市松人形、水引細工) 伝統技術技法を保存継承する会他	入園 5,074人
	民家園で福招き	1/4	全国	着物で無料 正月遊び、日本各地の注連飾り展示 炉端の会、民具製作技術保存会	入園 1,070人
交流 事業	南砺市交流事業	6/3・4	信越の村	芸能公演、茶菓体験、講座、映像上映 南砺市観光協会	—
	甲州市交流事業	11/25・26、3/4	佐々木家・江向家・本館他	芸能公演、ころ柿吊し、桃の花配布、ワイン講座 甲州市・甲州市観光協会	—
	福島市交流事業	10/14・15	鈴木家・佐々木家	土湯こけし作り実演 福島市	—
芸能	人形浄瑠璃	9/24	工藤家	演目未定 相模人形芝居下中座	232人
	農村歌舞伎	11/3	船越の舞台	演目未定 秋川歌舞伎あさる野座	280人
	獅子舞	1/4	佐々木家	未定	—
	★50周年伝統芸能公演「祝」	4/29	船越の舞台	木遣、菅の獅子舞、囃子曲掛、記念スピーチ 各芸能保存会他	230人
	★民家園荒馬座公演	11/12	船越の舞台	荒馬座	288人
その他 催事	★多摩区共催音楽イベント	3月24日	船越の舞台	多摩区共催	—
	★ポプリ♪サロンコンサート	9月10日	原家	ワールドフルートDUO／野田晴彦&赤星ゆり ミューザ川崎共催	—
	むかし話	奇数月2回、偶数月3回	作田家他	おはなし万華鏡、みちのくむかし語り、大平悦子氏、日本民話の会	1,160人
	ベ・ゴマ大会	5/5、9/3、1/7	広瀬家	入賞者にはオリジナルベ・ゴマプレゼント	104人
	★五輪ピック	8/20	作田家他	50周年にちなんだ子ども向けゲーム	101人
	民家園防火デー	7/17	太田家・原家	太田家焼損小屋公開と焼損復旧工事映像上映	上映会人
	お茶会	5/3、10/9	佐々木家	内田社中と川崎北高校茶道部、静楽会	220人
	★50周年記念地ビール販売	8/20	佐々木家	プライマブルーイング	50人
	古民家と日本酒の夕べ	11/23	信越の村	古民家の旧所在地の食文化を体験する 金井酒造、久保田酒店、秦野市他	109人
	★甲州ワイン今昔ものがたり	3/4	原家	広瀬家の旧所在地の食文化を体験する 甲州市、ビストロ・ル・ブルジョア	61人
	古民家カフェ「陣屋荘」	4・7月、9・11月(金土日祝)、1/4	原家	古民家の座敷を利用したカフェ	3,219人
	古民家めぐり(建築・暮らし)	月2回	園内	1時間で1つの村を案内 外山明彦・渋谷卓男(園職員)	502人
ガイド 解説	企画展示解説	期間中月1回、子供向け2回	企画展示室	企画展示の解説会 関悦子(園職員)	76人
	園内ガイド	通年	園内	土・日・祝は午前と午後、平日は午後 炉端の会	1,339人
	団体ガイド	年間	園内	団体の希望に応じ園内をガイド(日本語・英語) 炉端の会	1,865人
学校 連携	学校体験学習	年間	園内	大八車・井戸汲み・石臼・天枰棒の体験 園職員	59校
	学校見学(体験学習なし)	年間	園内		124校
博物館 連携	博物館実習	5月-11月	園内	3回、各10日間	26校32人

調査研究・広報・施設管理

調査 研究	調査	「暮らしと家」民俗調査(民家の一年補足調査)、企画展示資料調査		
	収蔵資料整理	山下家3階資料、大岡資料(建築)		
	刊行物	『シリーズ暮らしと家2 民家の一年』、『日本民家園今昔ものがたり』パンフレット、『結び展』解説図録		
広報	印刷物	民家園だより、催し物カレンダー、★ベトナム語リーフレット、学校向け優待券、★生田3大学向け優待券、★はんこ帖、50周年記念ポスター・フラッグ、各種チラシ		
維持 管理	古民家等保存修理工事	三澤家免震工事、★岩澤家・木小屋屋根葺替え工事、雨漏り応急処置、壁・建具・敷居・土間三和土などの補修		
	園内整備	★船越の舞台客席整備、★本館トイレ改修、★旧所在地の花木植樹、★スタンプハウスリニューアル、危険木伐採、案内板補修等、園路の整備		

50周年記念展示

展示★29年度が初めてのもの

	事業名	日程	会場	内容等	参加者・回数
企画展示	「日本民家園今昔ものがたり」	4/29-11/26	本館企画展示室	民家園の50年の歴史をふりかえる展示	—
伝統工芸館	「綾り糸のmagic3」	9/14-10/16		50週年にちなんだ展示	—

教育普及活動

芸能公演	★50周年伝統芸能公演「祝」	4/29	船越の舞台	木遣、菅の獅子舞、囃子曲持、記念スピーチ 各芸能保存会他	230人
	★民家園荒馬座公演	11/12	船越の舞台	荒馬座	288人
	50周年記念歌舞伎公演	11/3	船越の舞台	秋川歌舞伎あきる野座、50周年を記念し、回り舞台を使用して公演を実施。	280人
その他行事	★多摩区共催音楽イベント	3月24日	船越の舞台	多摩区共催	
	★ポプリ♪サロンコンサート	9月10日	原家	ワールドフルートDUO／野田晴彦&赤星ゆり ミュージアム共催	—
	★五輪ピック	8/20	作田家宅	50周年にちなんだ子ども向けゲーム	101人
	★50周年記念地ビール販売	8/20	さ々木家	プリマールブルーイング	50人
	★甲州ワイン今昔ものがたり	3/4	原家	広瀬家の旧所在地の食文化を体験する 甲州市、ビストロ・ル・ブルジョア	61人

調査研究・広報・施設管理

広報	印刷物	★はんに帖、50周年記念ポスター・フタッ
施設管理	園内整備	★船越の舞台客席整備、★本館トイレ改修、★旧所在地の花木植樹、★スタンプハウスリニューアル、